

CRにおける加硫促進剤の加硫性能について (9)

先に、CRにおけるカテコール加硫を紹介した¹⁾。ノクセラーPR（ジカテコールポレートのジ-*o*-トリルグアニジン塩）を用いた加硫は、架橋密度が低いため、今回は、PRに他の加硫促進剤や加硫剤を併用した場合の加硫を紹介する。図1に加硫剤を併用した加硫曲線を示した。単独でCRの架橋剤となるTCAやPMを併用しても架橋密度の上昇はほとんどない。図2から4に加硫促進剤を併用した場合の加硫曲線を示した。H、TT、TTTEに架橋密度の上昇がみられる。

実験

1. 配合

CR（非硫黄変性）100，酸化マグネシウム 4，ステアリン

酸 1，SRF 45，ナフテン系油 10，酸化亜鉛 5，PR 1.0，
試料 1.0

2. 加硫試験

160℃，キュラストメータJSRⅢ型

参考文献

- 1) NOC技術ノートNo.566：日本ゴム協会誌，81（2），会告43（2008）

ここに記載した内容は、細心の注意を払って行った試験に基づくものでありますが、結果をすべて確実に保証するものではありません。

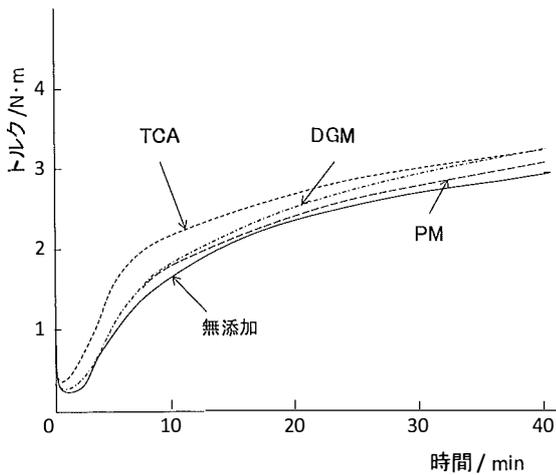


図1 加硫剤の併用効果

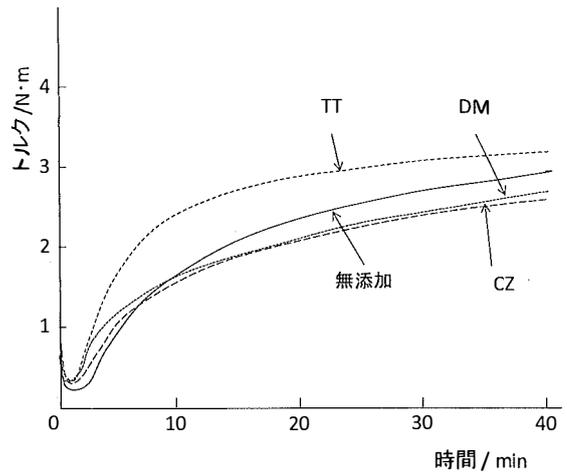


図2 加硫促進剤の併用効果①

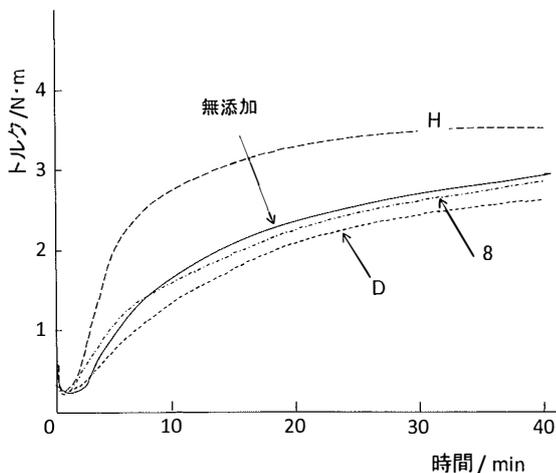


図3 加硫促進剤の併用効果②

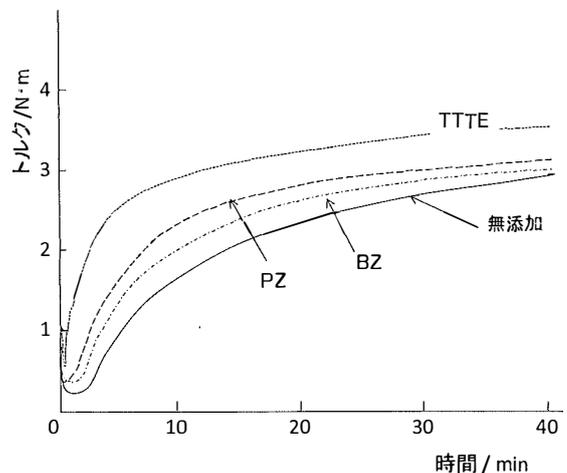


図4 加硫促進剤の併用効果③